




このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
くださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載
しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。


安全上のご注意


絵表示について


本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



絵表示の例


- 



△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。
- 

⊘ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。
- 

● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

	警告
本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。 ● 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。	
	
電池の取り扱いについて	
本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。	
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。	

	注意
かぶれについて	
時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。 ① 金属・皮革に対するアレルギー ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等 ③ 体調不良等 ● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。 ● 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。 ● 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。	

	注意
分解しないでください	
本機を分解しないでください。ケガをしたり本機が故障する原因となることがあります。	
	
ご使用にあたって	
時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。	
時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。	
思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。	
幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。	
お手入れについて	
ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしサビ易くなります。	

時刻・カレンダーの合わせ方

■ 時刻の合わせ方

1. りゅうずを 2 段引きます。
 - ※ この時、秒針が 12 時の位置まで移動して止まります。
2. りゅうずを反時計回りに回して、時刻を合わせます。
3. りゅうずを押し込みます。

※ 時刻を合わせるときは、針を正転方向（進む方向）に回して合わせてゆき、分針を正しい時刻より 4 ～ 5 分進めてから逆に戻して合わせると正確に合わせることができます。

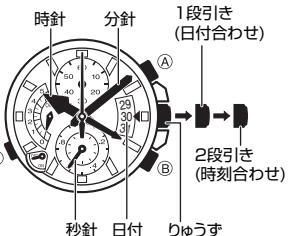
※ 時報は「時報サービス 117 番」が便利です。

■ 日付の合わせ方

1. りゅうずを 1 段引きます。
2. りゅうずを反時計回りに回して、日付を合わせます。
3. りゅうずを押し込みます。

※ 日付は 31 日制になっていますので、2、4、6、9、11 月の月末には必ず修正してください。

※ 午後 9 時～午前 1 時の間は、日付合わせを行わないでください（この間に日付合わせをすると翌日になっても変わらないことがあります）。



製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

表示方式：針式アナログ表示

駆動方式：ステップモーター方式

精度：平均月差± 20 秒以内

ストップウォッチ機能：計測範囲＝ 4 時間 59 分 59 秒 95（5 時間計）
計測単位＝ 1/20 秒
計測機能＝通常計測、積算計測

アラーム機能：時刻アラーム
アラーム数＝ 1 本
セット単位＝ 時（1 日 2 回）
電子音＝ 15 秒間（3 ～ 4 回繰り返す）

使用電池：SR927W 1 個（電池別途販売）

電池寿命：約 2 年

ストップウォッチの使い方

本機は、1/20 秒単位で 4 時間 59 分 59 秒 95（5 時間計）まで計測できます。

■ 計測のしかた

1. ⑥ ボタンを押します
 - ・ストップウォッチ用 1/20 秒針が“0”の位置になります。
2. ④ ボタンを押すことに計測がスタート／ストップします。
 - ※ りゅうずを引いた状態では計測を行わないでください。

● 「ストップウォッチ用 1/20 秒針」について

- ・計測スタート後、30 秒間動きます（1/20 秒の計測値を指し示します）。
- ・計測スタート後 30 秒経過すると、“0”の位置で止まります。
- ・“0”の位置で止まっている状態（計測スタート後 30 秒経過）で計測をストップすると、1/20 秒の計測値を指し示します。



積算計測……ストップ後リセットせずに再スタート（④ ボタン）すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

※ 計測をリセットすると、ストップウォッチ用 1/20 秒針、秒針、分針が早速りで回り出して、“0”の位置または 12 時の位置に戻ります。針が早く回っている間はボタン操作はできませんのでご注意ください。

※ 計測スタート後 5 時間を過ぎると、ストップウォッチ用時針は止まりますが、分針と秒針は動き続けます。

ストップウォッチ機能を終了するときは、リセット状態で ⑥ ボタンを押してください。

■ ストップウォッチ用針位置の修正

リセット状態でストップウォッチ用 1/20 秒針や秒針が“0”の位置または 12 時の位置に戻らないときは、以下の操作を行ってください。

1. りゅうずを 2 段引きます。
2. ④ ボタンを押して、ストップウォッチ用秒針を 12 時の位置に合わせます。
 - ※ 押し続けると早送りします。
3. ⑥ ボタンを押して、ストップウォッチ用 1/20 秒針を“0”の位置に合わせます。
 - ※ 押し続けると早送りします。



ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」[WATER RESISTANT] と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏蓋に表記	日常生活防水	日常生活用強化防水		
		「BAR」表記無し	5 気圧防水	10 気圧防水	20 気圧防水
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンスダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用は避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防水構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用は避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的（2 ～ 3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態でも、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用は避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合がありますが、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていたで、清潔にご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておく、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
- ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも濡れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかけられないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います（防水検査は別途有償となります）。

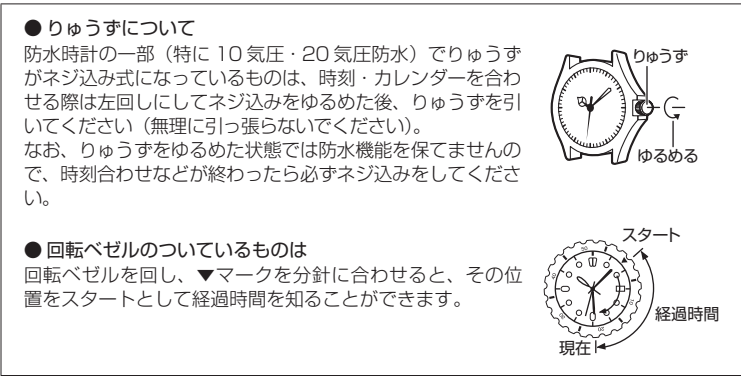
■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っているため故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

4. りゅうずを押し込みます。
 - ※ りゅうずを引いている間は、通常時刻の針も止まりますので時刻を合わせ直してください。
5. ⑥ ボタンを押して、ストップウォッチの針がそれぞれ 12 時の位置または“0”の位置にリセットされていることを確認してください。



アラームの使い方

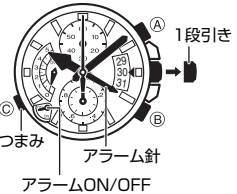
アラームをオンにすると、時針がアラーム針と重なったときにアラームが鳴ります（2 回 / 1 日）。例えば、6 時にアラーム針をセットすると、午前 6 時と午後 6 時にアラーム音が鳴ります。アラーム音は 15 秒間鳴り、2 分 45 秒間停止した後またアラーム音が鳴ります。アラームを止めるまで 3、4 回繰り返します。

■ アラーム時刻のセットのしかた

1. りゅうずを 1 段引きます。
2. りゅうずを時計回りにまわして、アラーム針を設定時刻に合わせます。
3. りゅうずを押し込みます。
4. ③ つまみを引いて、アラームをオン（ON）にします。
 - ③ つまみを押し込むと、アラームはオフ（OFF）になります。

■ アラームの止め方

1. アラームが鳴っているときに、③ つまみを押し込みます。



お手入れについて

■ お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくときさび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

- ＜さび（錆）＞
 - 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - ・汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
 - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

- ＜劣化＞
 - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

- ＜かぶれ＞
 - 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

Printed in China
MA1107-A